

令和元年度

学生による授業評価 アンケート実施結果報告書

—授業の質的向上と発展を目指して—

東北大学大学院農学研究科・農学部
評価室

目 次

はじめに	1
I. 学生による農学部 の授業評価	3
1. アンケートの実施方法	3
1) 実施の概要 2) 実施の方針 3) アンケート作成 4) 実施方法の概要	
2. アンケートの集計結果の分析(講義)	3
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
3. アンケートの集計結果の分析(実験・実習)	15
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
4. 参考資料	25
1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙 (QRコード) (令和元年度)	
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙 (QRコード) (令和元年度)	
2) 授業評価実施科目表 (科目別受講者数およびアンケート回収率) (令和元年度)	
3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について	
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について	
4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について	
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について	

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価	34
1.アンケートの実施方法	34
1) 実施の概要 2) 実施の方針 3) アンケート作成 4) 実施方法の概要	
2. アンケートの集計結果の分析	35
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
3. 参考資料	44
1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙 (2 学期)	
2) 授業評価実施科目表 (科目別受講者数およびアンケート回収率)	
3) 「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について	
4) 「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について	

はじめに

農学研究科・農学部での授業評価は、学生による授業評価を平成10年度の2学期と同11年度1学期に初めて実施され、同15年度以降は毎年実施しております。毎年実施されるようになって平成31年／令和元年度で16年目となります。本報告書は令和元年度(2019年度)の回答結果を令和2年度(2020年度)にまとめたものです。報告書のとりまとめは1年遅れとなります。

授業評価の直接的な目的は日常の授業の質的向上です。そして、その評価結果は大学の普段の活動状況に関する説明責任を果たすための資料になっています。

2020年度(令和2年度)には第3期中期目標期間(平成2016年度から2021年度)に係る業務の実績に関する4年目終了時評価のための現況調査表を提出しました。その中でも「学生による授業評価報告書」を引用して判断基準としています。

農学研究科・農学部において「学生による授業評価アンケート」は平成30年度まで紙媒体で実施しておりしておりました。令和元年度からはWEBマーケティングツールを利用したスマートフォンによるアンケート実施をしております。本報告書はWEBで実施したアンケートを集計した最初の報告書となります。また、2019年(平成31年)3月作成の報告書からは統計的分析データをPDF化して農学部・農学研究科HPで公開しています。

農学研究科・農学部は平成28年度秋から冬にかけて雨宮キャンパスから青葉山新キャンパスへ移転しました。平成29年4月からは青葉山新キャンパスでの講義が始まり、本報告書は青葉山新キャンパスでの3年目の講義についての報告書となります。農学部の専門教育科目において、2019年度(平成31年度／令和元年度)入学生よりクォーター制を導入しましたが、専門教育科目の講義は2年生からなので、令和元年度の授業評価アンケート対象講義にクォーター制の講義は含まれておりません。

また、令和2年度にはコロナ対策でオンライン授業を行いました。この報告書には含まれておりません。次年度に作成する報告書に反映されます。

最後に、学生による授業評価に協力を頂いた学生諸君と教員の皆様、同評価のための事務作業担当者、並びに評価報告書を取りまとめられた専門委員会の方々に謝意を表します。

令和3年1月

評価室長 鳥山欽哉

I.学生による農学部_の授業評価

I. 学生による農学部の授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学部の授業評価は、農学部における専門教育を受講している1年生、2年生、3年生および4年生を対象とした。

2) 実施方針

- (1) 実施は令和元年度に行われた農学部の講義と実験・実習を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、2単位の授業では令和元年6月下旬と令和2年1月に実施し、1単位の授業では終了時に実施した。実験・実習については各授業の終了時に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともに、Web上のアンケート回答ページ冒頭にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 各設問に対する回答は、4段階評価で行った。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、令和元年6月下旬および令和2年1月の各セメスター終了時の授業時間に、Web上のアンケート回答ページのQRコード読み取り用紙を配布し、学生はQRコードを読み取り、Web上でアンケートに回答した。実験・実習についても、各授業終了時に同様の形で実施した。
- (2) 教務係では、学生の回答データをWeb上からダウンロードして集計を行った。
- (3) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
令和元年度1学期は59科目、2学期は51科目で実施された。講義の履修届者数は1学期2,924名、2学期890名、アンケート延べ回答者数は1学期1,477名で回収率は50.5%、2学期890名で回収率は46.2%であった。
令和元年度実験・実習の履修届者数は512名、アンケート延べ回答者数は251名で回収率は49.0%であった。

2. アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:いまこの場で受講している講義の種類。

設問②:この講義にどの程度出席しましたか。

設問③:出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。

設問④:授業時間以外に、この講義に関連する学習(予習、復習、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか。

設問⑤:この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。

設問⑥:授業概要(シラバス)は有用でしたか。

設問⑦:授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。

設問⑧:内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。

設問⑨:講義について教員の熱意を感じましたか。

設問⑩:講義を進める速度は適切でしたか。

設問⑪:説明は良く聞き取れましたか。

設問⑫:板書等の文字は、読み易かったですか。

設問⑬:視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問⑭:資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問⑮:教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。

設問⑯:宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問⑰:この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。

設問⑱:講義内容はどの程度理解したと思いますか。

設問⑲:講義の難易度は適切でしたか。

設問⑳:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:必修か選択かを問う設問である。必修の割合は、1学期72%、2学期52%であった。

設問②③:出席割合と評価資格があると思うかを問う設問である。出席については90%以上出席が1学期は89%、2学期は約88%と同程度であった。評価資格については、十分であると答えた者の割合が1学期では75%、2学期では71%であった。

設問④、⑤:講義に対する学生の取り組みを問う設問である。予習・復習については、「2時間程度以上」と「1時間程度」の合計が1学期38%、2学期では選択肢が異なるが「よくした」と「した」の合計が40%であった。約6割の者が十分な予習・復習時間を確保しておらず、意識付けを行っていく必要がある。取り組みについては、「極めて熱心に取り組んだ」と「熱心に取り組んだ」の合計は1学期で78%、2学期で80%と高い水準にあり、熱心さがうかがえた。一方、あまり熱心に取り組んでいない学生が両学期とも20%程度いることにも留意する必要がある。

設問⑥、⑦:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスの有用性については、「大いに有用だった」と「有用だった」の合計は、1学期が84.7%、2学期は89%と前年と比較してやや向上しており、また1学期、2学期ともに96%を越える学生がシラバスに沿って講義が行われていると回答している。したがって、シラバスの内容は適切に作成され、学生に利用されているようである。

設問⑧、⑨:教員の講義に対する準備や熱意を問う設問である。1 学期、2 学期とも 90%を超える学生が講義内容は準備されていたとしている。また教員の熱意に関しても、1 学期、2 学期ともに 96%の学生が熱意を感じている。

設問⑩～⑫:教員の講義の仕方に関する設問である。講義を進める速度に関して、両学期ともに 94%の学生がほぼ適切だと感じている。また、1 学期、2 学期とも約 90%の学生が講義を「よく聞き取れた」あるいは「聞き取れた」としており前年に続き高い値であった。一方で、1 学期には 15%、2 学期には 10%の学生が「聞き取りにくかった」あるいは「聞き取れなかった」としており、引き続きマイクを使うなど配慮が必要と考えられた。板書については、1 学期で 85%、2 学期で 83%の学生が読み易かったと回答しているが、一方で、読みにくかったとしている学生が両学期において 15%程度おり改善が必要である。

設問⑬～⑮:教材の有用性に関する設問である。視聴覚・情報機器に関しては、役に立ったと感じている学生は 1 学期が 72%、2 学期が 76%であった。役に立たなかったとしている学生は両学期を通じて 4%と少なかった。配布資料や模擬実験についても役立ったと感じている学生は両学期を通じて約 80%であった。教科書や参考書が講義の理解に役立ったとする学生は両学期とも 50%程度と低かったが、これは未記入が多いことから、教科書や参考書の利用が特に推奨されなかったか必須ではなかったためと考えられる。実際、役に立たなかったとの回答は 5%程度であったため、教科書や参考書は有効であったと考えられる。

設問⑯、⑰:宿題・演習の有効性とオフィスアワーの設定に関する設問である。宿題・演習に関しては、両学期とも約 60%の学生が有効性を感じており、役に立たなかったとの回答は両学期とも約 5%と低かった。未記入が両学期とも 36%と高いことから、宿題・演習を課されていないあるいは課されても行わなかったことが考えられ、宿題・演習を学生が行った場合の有効性は高い。オフィスアワーの設定については、両学期とも 78～79%の学生が概ね適切であると回答している一方で、両学期を通じて約 20%の学生が未記入であった。適切でないとしている学生はわずかであったことからオフィスアワーの設定についてはほぼ問題ないと考えられる。

設問⑱、⑲:講義の理解度と難易度を問う設問である。理解度については、両学期とも 85%を超える学生が理解できたと感じている。難易度についても、両学期とも 90%を超える学生が適切であると感じている。また難易度が適切でないとした学生は 5～7%であり難易度の設定に問題はないと考えられる。両学期を通じて約 15%の学生が理解できなかったとしており、数値としては前年度からやや高くなっている。引き続きわかりやすい講義の実施に努めることが求められる。

設問⑳:講義の満足度を問う設問である。両学期とも 90%を超える学生が満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 講義に対する学生の取り組みを問う設問と教員の講義の仕方に関する設問に対する評価は、前年度と同様に高かった。
- ② 1 学期、2 学期ともに 96%の学生が講義はシラバスに沿って講義が行われていると回答しており、前年度よりさらにシラバスが適切に作成されるようになり、学生に有効に利用されていると考えられる。
- ③ 90%を超える学生が、講義内容は準備されており、また講義を進める速度に関してもほぼ適切だと感じている。
- ④ 90%を越える学生が教員の講義を行う姿勢に熱意を感じ、また総合的に満足している。
- ⑤ 難易度について、90%を超える学生が適切であると感じており、適切でないとした学生は 10%未満であった。

【改善を要する点】

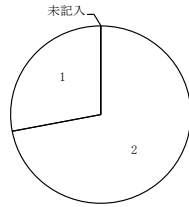
- ① 予習・復習を十分に行わなかったと考えられる者が 60%程度いるため、もう少し予習・復習を行うよう意識付ける必要がある。
- ② 授業にあまり熱心に取り組んでいない学生が両学期とも 20%程度おり、改善策を検討する必要がある。
- ③ オフィスアワーの設定については、適切でないとしている学生はわずかであったことからオフィスアワーの設定についてはほぼ問題ないと考えられる。
- ④ 講義の基本となる説明において「聞き取りにくかった」あるいは「聞き取れなかった」とした学生が 1 割以上で、板書が読みにくかったとした学生が 2 割弱おり、マイクの使用や明瞭な話し方、読みやすい板書を心がける必要がある。
- ⑤ 難易度の設定には問題はないが、両学期を通じて理解度が低いとした者が1割を切りやや改善された。今後も引き続きわかりやすい講義の実施に努める必要がある。

東北大学農学部に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

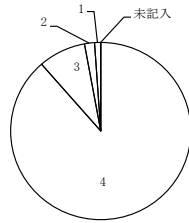
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
①いまこの場で受講している講義の種類	2 必修	1,063	72.0
	1 選択	417	28.0
	未記入	0	0.0
②この講義にどの程度出席しましたか。	4 90%以上	1,312	88.6
	3 80-90%	125	8.5
	2 70-80%	26	1.8
	1 70%以下	17	1.1
	未記入	0	0.0
③出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。	4 充分ある	1,103	74.5
	3 一応ある	341	23.1
	2 あまりない	31	2.1
	1 全くない	5	0.3
	未記入	0	0.0
④授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか。	4 2時間程度以上	167	11.3
	3 1時間程度	388	26.2
	2 30分程度	655	44.3
	1 全くしなかった	270	18.2
	未記入	0	0.0

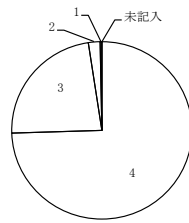
①必修・選択



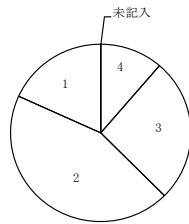
②出席



③評価資格



④予習・復習

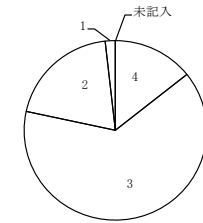


東北大学農学部に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

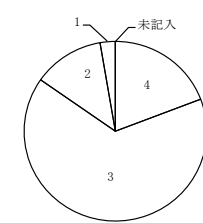
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑤この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	211	14.3
	3 熱心に取り組んだ	949	64.1
	2 あまり熱心に取り組まなかった	293	19.8
	1 全く熱心に取り組まなかった	27	1.8
	未記入	0	0.0
⑥授業概要(シラバス)は有用でしたか。	4 大いに有用だった	284	19.2
	3 有用だった	969	65.5
	2 あまり有用でなかった	187	12.6
	1 有用でなかった	40	2.7
	未記入	0	0.0
⑦授業概要(シラバス)にそって授業が行われていたか。	4 行われていた	560	37.8
	3 だいたい行われていた	865	58.5
	2 あまり行われていなかった	43	2.9
	1 全く行われていなかった	12	0.8
	未記入	0	0.0
⑧内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくできていたと思いますか。	4 よくできていた	674	45.5
	3 されていた	710	48.0
	2 あまりされていなかった	78	5.3
	1 極めて不十分だった	18	1.2
	未記入	0	0.0

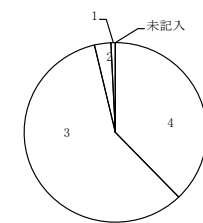
⑤取組み



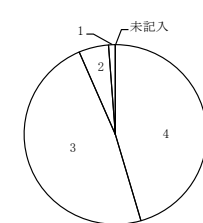
⑥シラバスの有用性



⑦シラバスとの整合性



⑧整理・準備

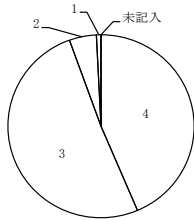


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

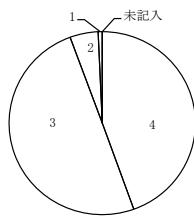
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑨講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	645	43.6
	3 感じた	754	50.9
	2 あまり感じなかった	70	4.7
	1 全く感じなかった	11	0.8
	未記入	0	0.0
⑩講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	658	44.5
	3 概ね適切だった	738	49.9
	2 あまり適切でなかった	73	4.9
	1 全く適切でなかった	11	0.7
	未記入	0	0.0
⑪説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	589	39.8
	3 聞き取れた	670	45.3
	2 聞き取りにくかった	175	11.8
	1 聞き取れなかった	46	3.1
	未記入	0	0.0
⑫板書等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	505	34.1
	3 読み易かった	754	51.0
	2 読みにくかった	178	12.0
	1 非常に読みにくかった	43	2.9
	未記入	0	0.0

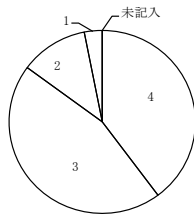
⑨熱意



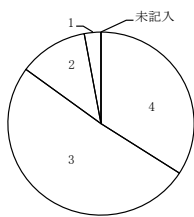
⑩講義速度



⑪説明



⑫板書

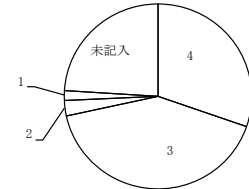


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

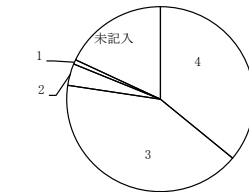
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑬視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	448	30.3
	3 役立った	611	41.3
	2 あまり役立たなかった	40	2.7
	1 全く役立たなかった	26	1.7
	未記入	355	24.0
⑭資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	533	36.0
	3 役立った	612	41.4
	2 あまり役立たなかった	56	3.8
	1 全く役立たなかった	12	0.8
	未記入	267	18.0
⑮教科書・参考書は参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。	4 大いに役立った	268	18.1
	3 役立った	521	35.2
	2 あまり役立たなかった	80	5.4
	1 全く役立たなかった	20	1.4
	未記入	591	39.9
⑯宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	365	24.7
	3 役立った	549	37.1
	2 あまり役立たなかった	48	3.2
	1 全く役立たなかった	13	0.9
	未記入	505	34.1

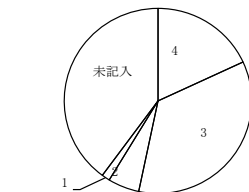
⑬視聴覚・情報機器



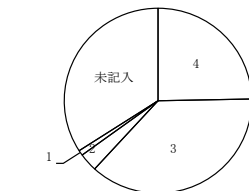
⑭資料・教材



⑮教科書・参考書



⑯宿題・演習

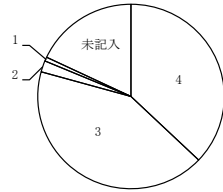


東北大学農学部に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

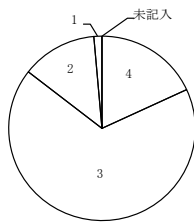
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑩この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4 適切である	549	37.1
	3 ほぼ適切である	624	42.2
	2 あまり適切でない	30	2.0
	1 適切でない	11	0.7
	未記入	266	18.0
⑪講義内容はどの程度理解したと思いますか。	4 よく理解できた	268	18.1
	3 理解できた	997	67.4
	2 あまり理解できなかった	194	13.1
	1 全く理解できなかった	21	1.4
	未記入	0	0.0
⑫講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	501	33.9
	3 概ね適切だった	879	59.4
	2 あまり適切でなかった	82	5.5
	1 全く適切でなかった	18	1.2
	未記入	0	0.0
⑬総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	520	35.1
	3 ある程度満足した	847	57.2
	2 あまり満足しなかった	93	6.3
	1 全く満足しなかった	20	1.4
	未記入	0	0.0

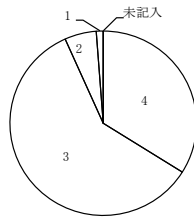
⑩オフィスアワー



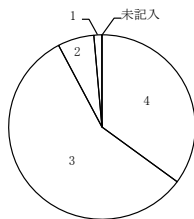
⑪理解



⑫難易度



⑬総合判断

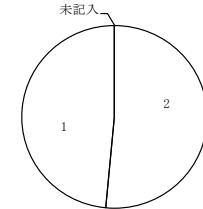


東北大学農学部に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

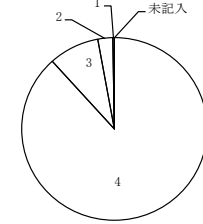
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
①いまこの場で受講している講義の種類	2 必修	458	51.5
	1 選択	432	48.5
	未記入	0	0.0
②この講義にどの程度出席しましたか。	4 90%以上	786	88.3
	3 80-90%	78	8.8
	2 70-80%	23	2.6
	1 70%以下	3	0.3
	未記入	0	0.0
③出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。	4 充分ある	629	70.7
	3 一応ある	245	27.5
	2 あまりない	14	1.6
	1 全くない	2	0.2
	未記入	0	0.0
④授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか。	4 よくした	116	13.0
	3 した	243	27.3
	2 あまりしなかった	388	43.6
	1 全くしなかった	143	16.1
	未記入	0	0.0

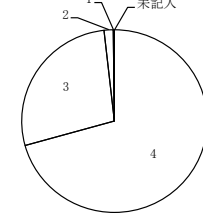
①必修・選択



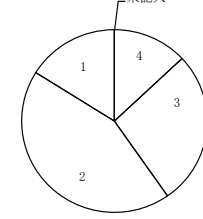
②出席



③評価資格



④予習・復習

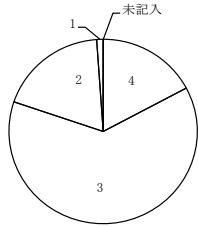


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

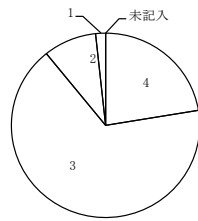
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑤この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	153	17.2
	3 熱心に取り組んだ	561	63.0
	2 あまり熱心に取り組まなかった	166	18.7
	1 全く熱心に取り組まなかった	10	1.1
	未記入	0	0.0
⑥授業概要(シラバス)は有用でしたか。	4 大いに有用だった	199	22.4
	3 有用だった	595	66.8
	2 あまり有用でなかった	81	9.1
	1 有用でなかった	15	1.7
	未記入	0	0.0
⑦授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。	4 行われていた	348	39.1
	3 だいたい行われていた	511	57.4
	2 あまり行われていなかった	26	2.9
	1 全く行われていなかった	5	0.6
	未記入	0	0.0
⑧内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	4 よくされていた	394	44.3
	3 されていた	447	50.2
	2 あまりされていなかった	43	4.8
	1 極めて不十分だった	6	0.7
	未記入	0	0.0

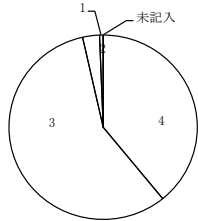
⑤取組み



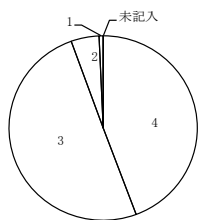
⑥シラバスの有用性



⑦シラバスとの整合性



⑧整理・準備

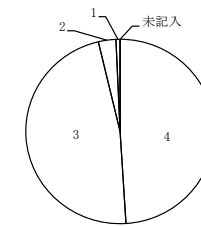


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

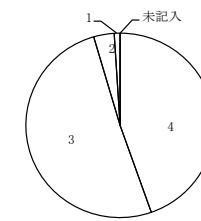
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑨講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	436	49.0
	3 感じた	421	47.3
	2 あまり感じなかった	27	3.0
	1 全く感じなかった	6	0.7
	未記入	0	0.0
⑩講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	397	44.6
	3 概ね適切だった	453	50.9
	2 あまり適切でなかった	31	3.5
	1 全く適切でなかった	9	1.0
	未記入	0	0.0
⑪説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	396	44.5
	3 聞き取れた	406	45.6
	2 聞き取りにくかった	80	9.0
	1 聞き取れなかった	8	0.9
	未記入	0	0.0
⑫板書等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	274	30.8
	3 読み易かった	464	52.2
	2 読みにくかった	125	14.0
	1 非常に読みにくかった	27	3.0
	未記入	0	0.0

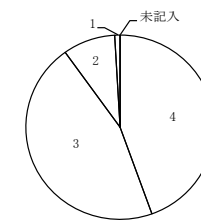
⑨熱意



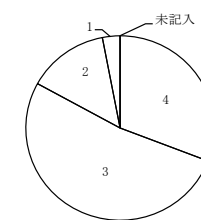
⑩講義速度



⑪説明



⑫板書

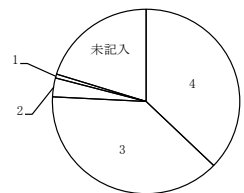


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

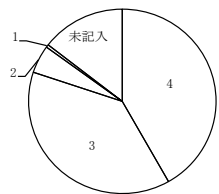
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑬視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	331	37.2
	3 役立った	344	38.6
	2 あまり役立たなかった	29	3.3
	1 全く役立たなかった	6	0.7
	未記入	180	20.2
⑭資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	372	41.8
	3 役立った	341	38.3
	2 あまり役立たなかった	44	4.9
	1 全く役立たなかった	4	0.5
	未記入	129	14.5
⑮教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。	4 大いに役立った	188	21.1
	3 役立った	270	30.3
	2 あまり役立たなかった	40	4.5
	1 全く役立たなかった	7	0.8
	未記入	385	43.3
⑯宿題（レポートを含む）や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	212	23.8
	3 役立った	314	35.3
	2 あまり役立たなかった	36	4.0
	1 全く役立たなかった	5	0.6
	未記入	323	36.3

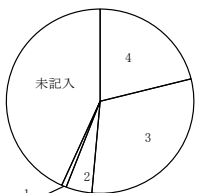
⑬視聴覚・情報機器



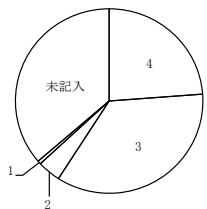
⑭資料・教材



⑮教科書・参考書



⑯宿題・演習

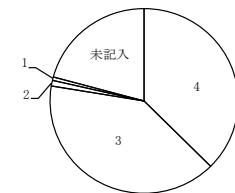


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

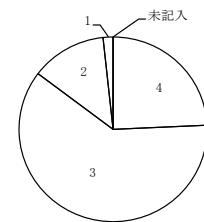
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑰この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4 適切である	334	37.5
	3 ほぼ適切である	357	40.1
	2 あまり適切でない	9	1.0
	1 適切でない	5	0.6
	未記入	185	20.8
⑱講義内容はその程度理解したと思いますか。	4 よく理解できた	216	24.3
	3 理解できた	543	61.0
	2 あまり理解できなかった	116	13.0
	1 全く理解できなかった	15	1.7
	未記入	0	0.0
⑲講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	325	36.5
	3 概ね適切だった	497	55.8
	2 あまり適切でなかった	61	6.9
	1 全く適切でなかった	7	0.8
	未記入	0	0.0
⑳総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	358	40.2
	3 ある程度満足した	456	51.2
	2 あまり満足しなかった	68	7.7
	1 全く満足しなかった	8	0.9
	未記入	0	0.0

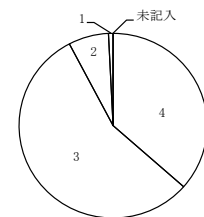
⑰オフィスアワー



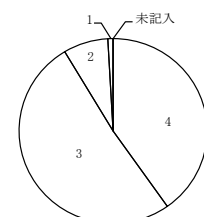
⑱理解



⑲難易度



⑳総合判断

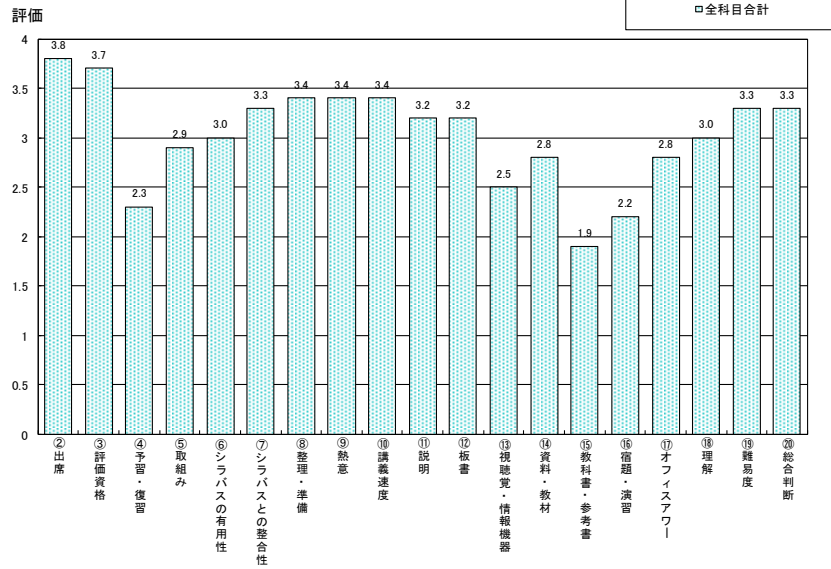
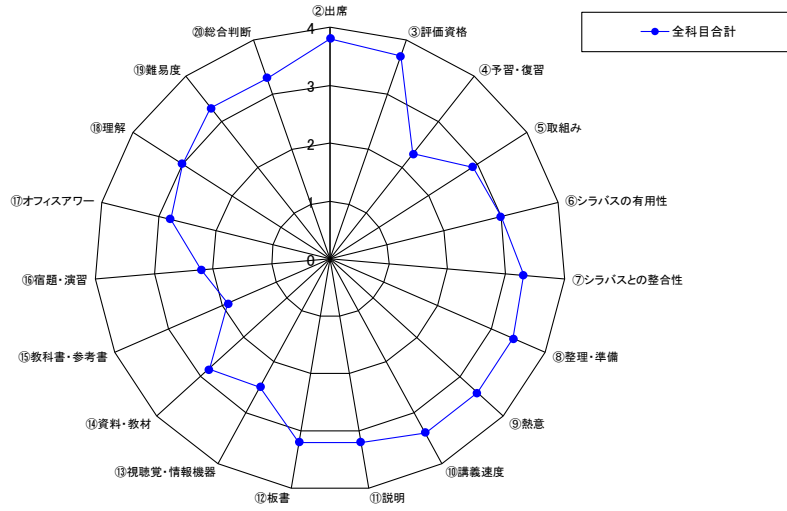


○全科目の集計結果と集計表

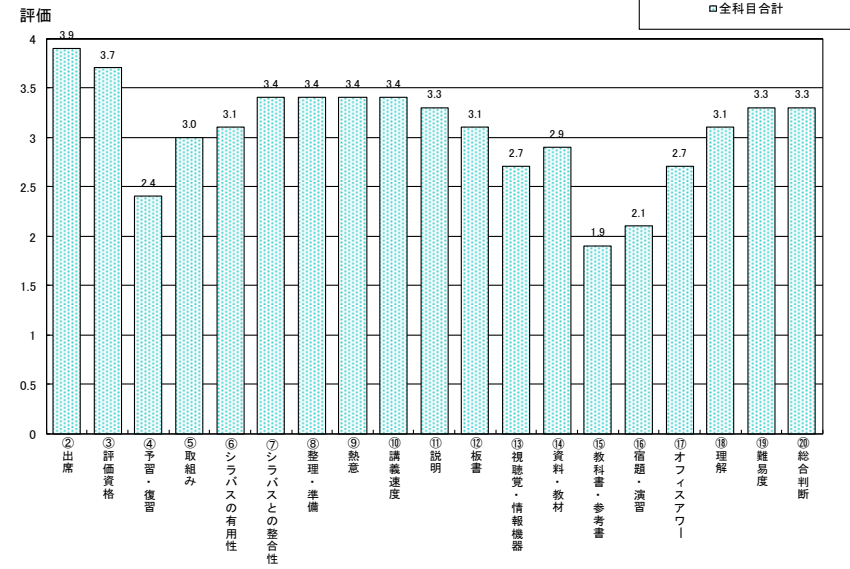
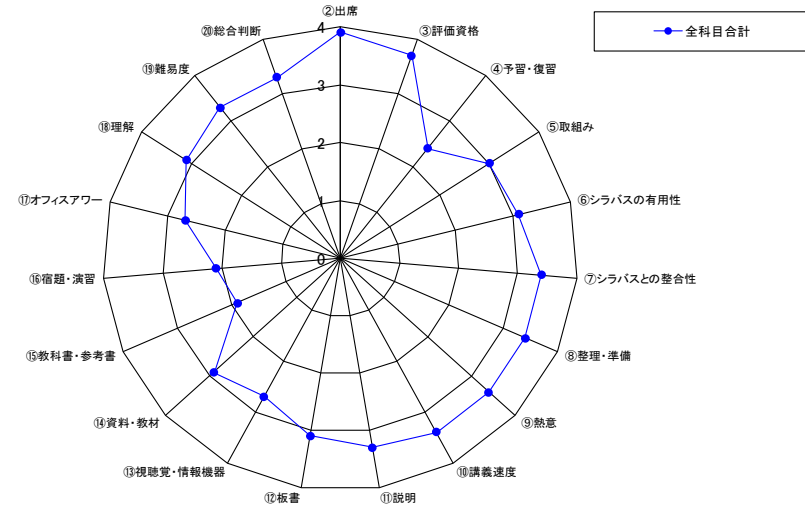
各設問に対する4段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。ただし、設問①は除いた。出席割合を示す設問②はすべての設問の中で最も点数が高く1学期3.8、2学期3.9であった。これとほぼ同程度に高かったのは設問③の評価資格で1、2学期とも3.7であった。1、2学期とも比較的高い点数と思われる3.4となっていたのは、⑧整理・準備、⑨熱意、⑩講義速度であり、昨年度と比べると2項目の減少であった。

低い評価点数である2.0以下の設問としては、1、2学期を通じて⑮教科書・参考書が上げられ1、2学期とも1.9と最も低かった。次いで低い評価として点数が2.5未満のものは、1、2学期を通じて⑯宿題・演習と④予習・復習であった。これらの項目は、引き続き改善が必要である。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和元年1学期)
全科目合計



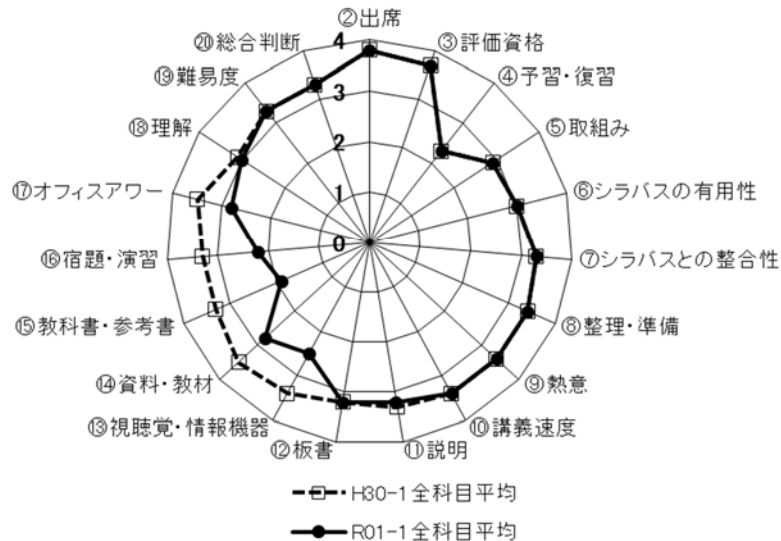
東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和元年2学期)
全科目合計



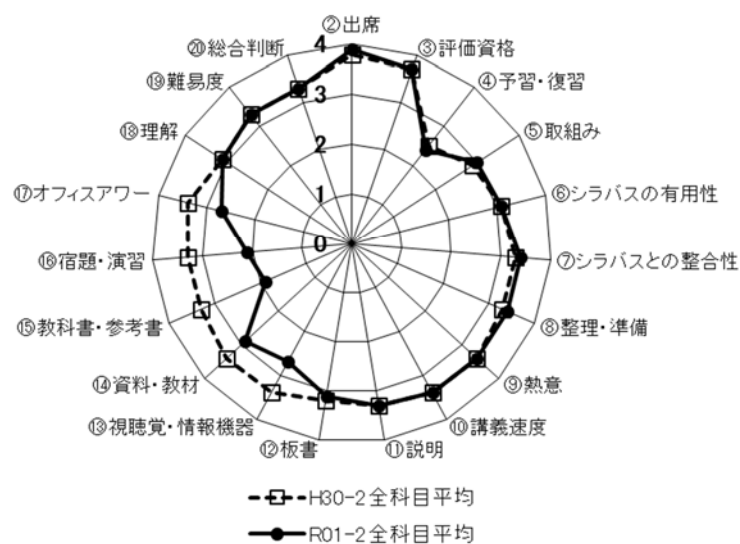
○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成30年度実施)と同じである。1学期、2学期とも、⑬視聴覚・情報機器、⑭資料・教材、⑮教科書・参考書、⑯宿題・演習、⑰オフィスアワーで低下しており、要因の検討が必要である。その他は前回と大きな変化はみられない。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. アンケートの集計結果の分析（実験・実習）

集計結果は、実験・実習全科目の以下の各質問事項において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①: 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。

設問②: 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていたか。

設問③: テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。

設問④: 実験機器・設備は十分でしたか。

設問⑤: 実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。

設問⑥: 劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていたか。

設問⑦: 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。

設問⑧: 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑨: TA 等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑩: 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。

設問⑪: レポート課題は適切に選択されていたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。

設問⑫: データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。

設問⑬: 実験の時間配分は適切でしたか。

設問⑭: この実験科目にあなたは満足できましたか。

設問⑯: この実験に何回欠席しましたか。

設問⑰: この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。

設問⑱: 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①、②: 実験・実習の意義・内容の理解および各実験項目に対する配慮を問う設問である。ほぼ全ての学生が、各実験・実習の意義や目的がシラバスや実際の実験を通して理解でき、各実験項目と講義との関係や実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じているようである。

設問③～⑤: テキストや実験機器・設備とその維持状況を問う設問である。テキストに関しては、両学期ともに 97%の学生がおおよそ適切あるいは十分と考えていた。実験機器・整備に関しても十分だったとする割合は 90%以上と高かったが、不十分とする学生の割合も 8%みられた。機器管理に関してはほとんどの学生が適切に管理されていると考えている。

設問⑥、⑦: 実験の安全管理面や後処理指示の適切さを問う設問である。劇毒物等の管理が配慮されていたとする学生は 76%であった。未記入が 23%と多かったことから、劇毒物等の扱いがなかったか、認

識が不十分であったかのいずれかと考えられる。後処理については両学期とも 95%を超える学生がほぼ適切であったと感じている。

設問⑧～⑩:担当スタッフや TA の指導状況を問う設問である。95%を超える学生が教員・技術職員が実験の指導に十分な時間を費やし、指導もきめ細やかだったと感じている。TA の指導が十分だったとする学生は 98%であった。また、実験操作技術への教育はほぼ全ての学生が概ね十分であると評価している。

設問⑪、⑫:レポート課題に関する設問である。約 95%の学生が、レポート課題が適切であり、内容の理解や考える力を養うに十分なものであり、データ整理から書き方にいたるまでの指導も十分であると感じている。

設問⑬、⑭:実験科目の時間配分や実験に対する満足度を問う設問である。94%の学生が時間配分は適切であると感じている。また、98%の学生が実験科目に満足を感じていた。

設問⑯～⑲:出席、予習・復習、集中度を問う設問である。95%の学生が欠席なしまたは1回欠席と回答しており、出席率は講義に比べて非常に高い。しかし、予習・復習をしなかった学生が約 11%いた。また、98%の学生が実験・実習に集中できたと感じている。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① ほぼ全ての学生が、意義や目的を理解しており、実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じていた。
- ② テキスト、実験機器の管理や安全管理が適切であったとする学生が 90%以上であった。
- ③ 教員・技術職員による指導が十分であったと 95%以上の学生が感じていた。
- ④ 実験に対して満足を感じている学生が 98%であった。

【改善を要する点】

- ① 実験機器や設備が不十分と感じている学生は 8%であった。予算に応じて適宜整備すべきであろう。
- ② レポートの指導および実験の時間配分が適切でないとする学生の割合は高くはなかったが、一定数みられた(5%程度)。
- ③ 予習・復習をまったくしない学生の割合が 11%程度であり、改善の余地がある。

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和元年）

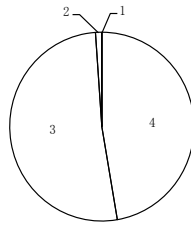
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

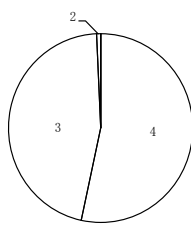
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。	4 よく理解できた	131	47.3
	3 ある程度理解できた	143	51.6
	2 あまり理解できなかった	3	1.1
	1 全く理解できなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
2. 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていたか。	4 十分配慮されていた	148	53.4
	3 ある程度配慮されていた	127	45.9
	2 あまり配慮されていなかった	2	0.7
	1 全く配慮されていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
3. テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。	4 適切であった	152	54.9
	3 概ね適切であった	116	41.9
	2 あまり適切でなかった	9	3.2
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
4. 実験機器・設備は十分でしたか。	4 十分だった	138	49.8
	3 概ね十分だった	117	42.3
	2 多少不十分だった	20	7.2
	1 不十分だった	2	0.7
	未記入	0	0.0

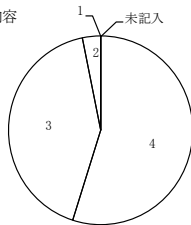
1. 理解度



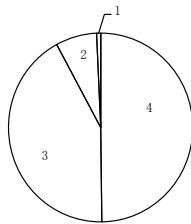
2. 実験項目



3. テキスト内容



4. 実験設備



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和元年）

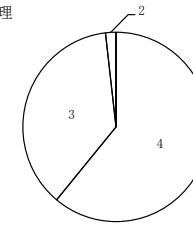
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

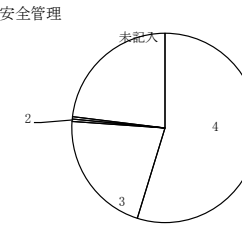
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切になされていたか。	4 適切に管理されていた	169	61.0
	3 概ね適切に管理されていた	103	37.2
	2 あまり管理されていなかった	5	1.8
	1 全く管理されていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
6. 劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていたか。	4 十分配慮されていた	152	54.8
	3 ある程度配慮されていた	59	21.3
	2 あまり配慮されていなかった	1	0.4
	1 全く配慮されていなかった	1	0.4
	未記入	64	23.1
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。	4 適切であった	192	69.3
	3 概ね適切であった	82	29.6
	2 あまり適切でなかった	3	1.1
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	188	67.9
	3 概ね十分だった	81	29.2
	2 多少不十分だった	7	2.5
	1 不十分だった	1	0.4
	未記入	0	0.0

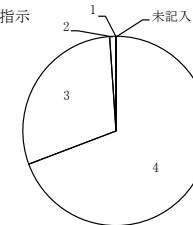
5. 機器管理



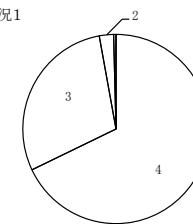
6. 安全管理



7. 後処理指示



8. 指導状況1



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和元年）

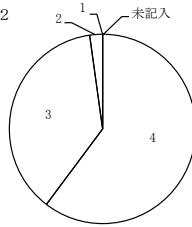
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

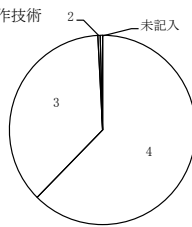
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	167	60.3
	3 概ね十分だった	104	37.5
	2 多少不十分だった	6	2.2
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0
10. 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作など実験操作技術への教育は十分でしたか。	4 十分だった	173	62.4
	3 概ね十分だった	102	36.8
	2 多少不十分だった	1	0.4
	1 不十分だった	1	0.4
	未記入	0	0.0
11. レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立っていましたか。	4 大いに役立った	144	52.0
	3 ある程度役立った	128	46.2
	2 あまり役立たなかった	5	1.8
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
12. データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。	4 十分あった	159	57.4
	3 概ね十分あった	111	40.1
	2 多少不十分だった	7	2.5
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0

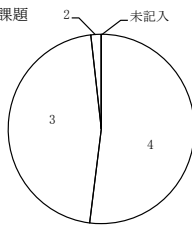
9. 指導状況2



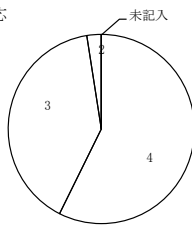
10. 実験操作技術



11. レポート課題



12. 学生対応



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和元年）

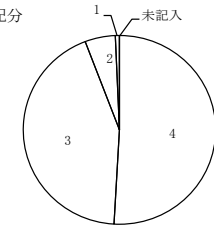
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

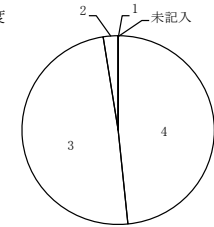
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 実験の時間配分は適切でしたか。	4 適切であった	141	50.9
	3 概ね適切であった	120	43.3
	2 あまり適切でなかった	14	5.1
	1 全く適切でなかった	2	0.7
	未記入	0	0.0
14. この実験科目にあなたは満足できましたか。	4 大いに満足した	134	48.4
	3 ある程度満足した	136	49.1
	2 あまり満足しなかった	7	2.5
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
16. この実験に何回欠席しましたか。	4 欠席しなかった	261	94.2
	3 1回欠席	3	1.1
	2 2回欠席	3	1.1
	1 3回以上欠席	10	3.6
	未記入	0	0.0
17. この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらかですか。	4 3時間以上	44	15.9
	3 2時間以上～3時間未満	43	15.5
	2 2時間未満	160	57.8
	1 しなかった	30	10.8
	未記入	0	0.0

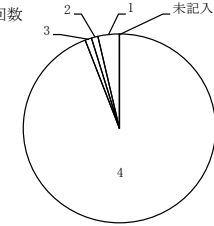
13. 時間配分



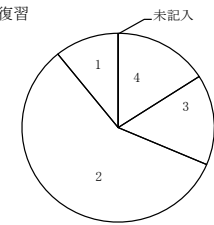
14. 満足度



16. 出席回数



17. 予習・復習



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和元年）

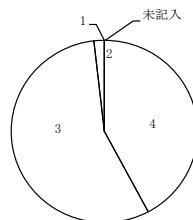
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
18. 実験に集中できませんでしたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。	4 大いに集中できた	117	42.2
	3 ある程度集中できた	155	56.0
	2 あまり集中できなかった	5	1.8
	1 全く集中できなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

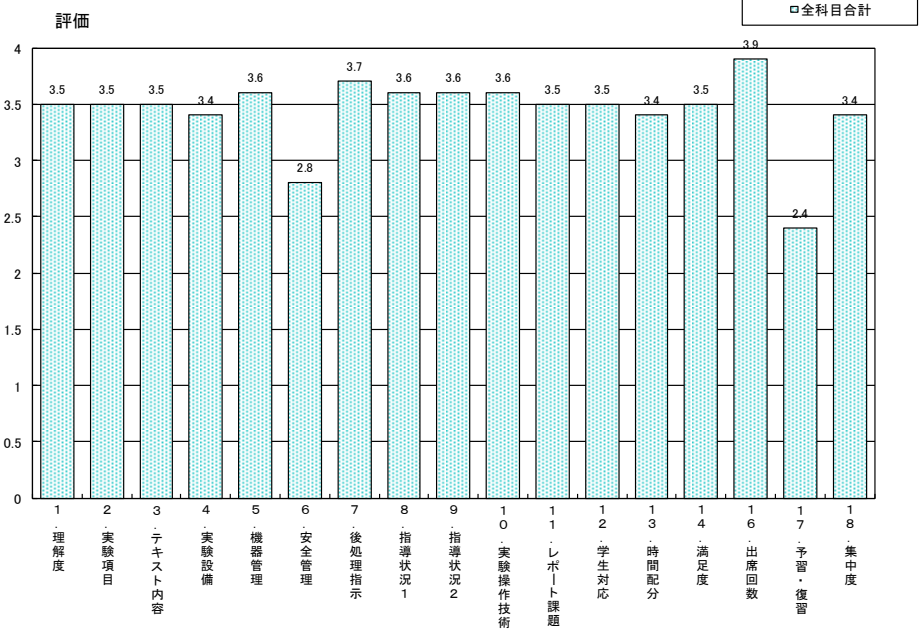
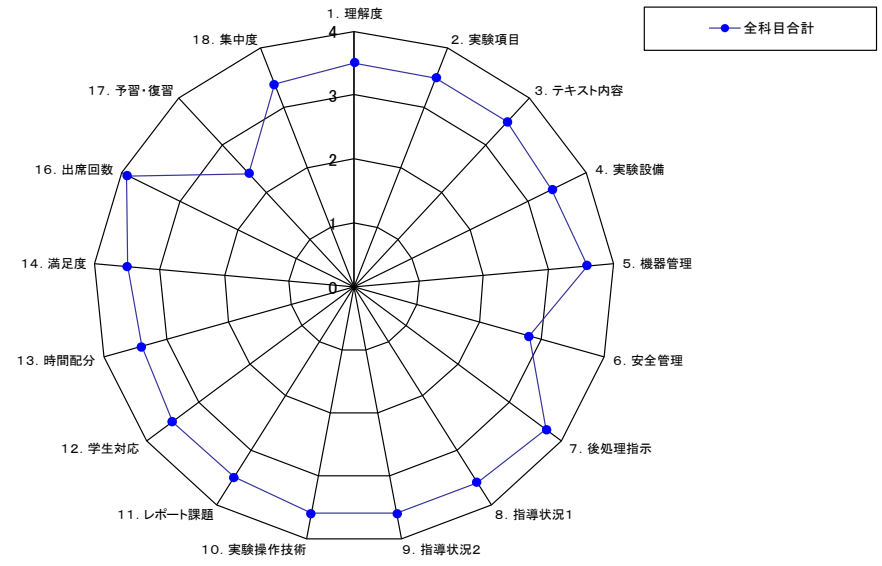
18. 集中度



○実験・実習全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の実験・実習全科目の平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席回数を示す設問⑩はすべての設問の中で最も点数が高く3.9であった。次いで高いのは⑦後処理指示(3.7)、④実験設備(3.6)であった。一方、平均点より大幅に低かった設問は⑥安全管理と⑰予習・復習であり、それぞれ2.8、2.4であった。その他の項目は3.3～3.5と概ね高評価であった。

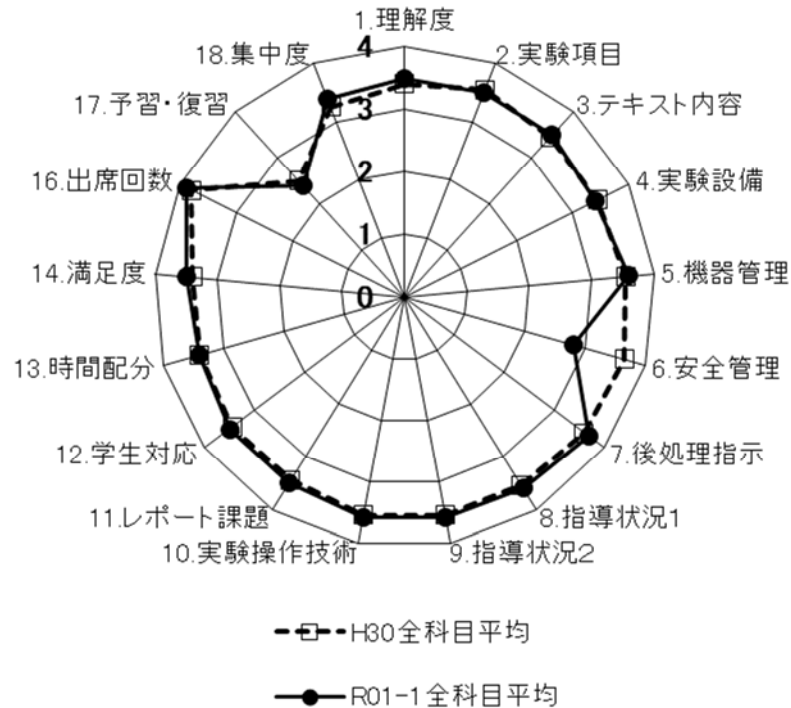
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(令和元年度)
全科目合計



○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成 30 年度実施)と同じである。⑥安全管理で低下がみられるが、その他の項目は前回と比べて大きな変化はないようである。

前回の実験・実習全科目との比較



4. 参考資料

- 1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙(QRコード)(令和元年度)
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙(QRコード)(令和元年度)
- 2) 授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(令和元年度)
- 3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について

授業評価アンケート（R1前期）

QRコードを読み取り、アンケートに回答してください。
QRコードを読み取れない方は、URLからウェブサイト
にアクセスしてください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/EXO4831J>



学部実験用

<https://questant.jp/q/11ODU59Q>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/CRF82KZ9>



授業評価アンケート（R1後期）

QRコードを読み取り、アンケートに回答してください。
QRコードを読み取れない方は、URLからウェブサイト
にアクセスしてください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/DVMD2PYC>



学部実験用

<https://questant.jp/q/11ODU59Q>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/4BSUHHL8>



東北大学農学部に関するアンケート集計結果(令和元年度1学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	1,477	2,924	50.5%
AB1101	資源有機化学	104	162	64.2%
AB1111	昆虫生理生態学	11	14	78.6%
AB1113	動物栄養生化学	5	28	17.9%
AB1114	生物海洋学	21	28	75.0%
AB1115	食品衛生化学	66	96	68.8%
AB1121	植物発生理学	27	30	90.0%
AB1131	食用作物学	1	37	2.7%
AB1132	草地科学	21	31	67.7%
AB1134	栄養生理学	36	60	60.0%
AB1141	遺伝育種学	13	24	54.2%
AB1151	動物資源開発学	20	27	74.1%
AB1204	植物栄養生理学	36	39	92.3%
AB1213	水圏植物生態学	21	28	75.0%
AB1214	微生物生化学	4	50	8.0%
	科学英語講読 I (資源環境経済学コース)	10	27	37.0%
AB1301	生物化学	110	136	80.9%
AB1311	広域資源調査学	13	19	68.4%
AB1312	動物機能形態学	16	17	94.1%
AB1313	遺伝資源学	12	28	42.9%
AB1314	生命工学	33	40	82.5%
AB1321	栽培植物環境科学	33	34	97.1%
AB1322	環境経済学	8	9	88.9%
AB1325	海洋生物工学	4	26	15.4%
AB1331	アグリビジネス論	46	50	92.0%
AB1332	酵素化学	68	85	80.0%
AB1401	動物生理科学	3	28	10.7%
AB1402	資源生物生理学(海洋系)	4	31	12.9%
AB1403	分析有機化学	48	62	77.4%
AB1405	植物感染応答学	15	27	55.6%
AB1411	植物育種学各論	13	24	54.2%
AB1412	ミルク科学	39	67	58.2%
AB1413	水圏植物学	21	31	67.7%
AB1414	生命有機化学	26	34	76.5%
	科学英語講読 I (海洋生物科学コース)	6	27	22.2%
AB1441	生物生産情報処理概論	24	30	80.0%
AB1442	入門演習	8	10	80.0%
AB1501	農学と社会・環境・倫理	102	152	67.1%
AB1502	分析化学	63	110	57.3%
AB1511	果樹園芸学	21	23	91.3%
AB1513	環境システム生物学	1	32	3.1%
AB1514	水産利用学	15	33	45.5%
AB1515	生物制御化学	27	34	79.4%
AB1521	生理・生態学概論	7	152	4.6%
AB1523	物理化学	73	90	81.1%
AB1533	生物統計学	22	35	62.9%
AB1541	現代における農と農学	8	151	5.3%
AB1542	植物遺伝学	29	27	107.4%
AB1543	ミクロ経済学	10	10	100.0%
AB1561	植物生命科学入門	25	27	92.6%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB1611	陸圏環境コミュニケーション論	7	151	4.6%
AB2325	機能分子解析学	22	33	66.7%
AB2403	魚類学	1	28	3.6%
AB57141	資源環境経済学演習 I	7	9	77.8%
	沿岸生物学	1	30	3.3%
	応用酵素学	14	47	29.8%
	水圏環境コミュニケーション論	6	150	4.0%
	微生物学	51	84	60.7%
	政治経済学	8	9	88.9%
	フードシステム論	11	11	100.0%

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和元年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	890	1,926	46.2%
AB1203	水産資源生態学	5	5	100.0%
AB1631	科学英語講読Ⅰ(資源環境経済学コース)	1	10	10.0%
AB2101	基礎土壌学	2	40	5.0%
AB2102	生物有機化学	47	81	58.0%
AB2113	食品組織学	5	9	55.6%
AB2121	資源動物生態学(動物系)	13	16	81.3%
AB2122	資源動物生態学(海洋系)	2	25	8.0%
AB2123	植物細胞生化学	45	57	78.9%
AB2131	植物保護学	13	14	92.9%
AB2132	学術情報リテラシー	13	30	43.3%
AB2141	植物系微生物サイエンス	33	40	82.5%
AB2143	食品加工学	9	84	10.7%
AB2151	植物生産科学	1	37	2.7%
AB2153	微生物サイエンス	18	20	90.0%
AB2202	動物遺伝育種学	6	29	20.7%
AB2203	水産増殖学	1	29	3.4%
AB2205	生理活性化学	25	35	71.4%
AB2211	比較農業論	1	13	7.7%
AB2221	バイオインフォマテックス概論	8	70	11.4%
AB2301	野菜園芸学	16	27	59.3%
AB2303	動物生命科学	19	27	70.4%
AB2304	プランクトン学	17	22	77.3%
AB2311	環境・動物福祉学	7	11	63.6%
AB2312	水圏無脊椎動物学	1	28	3.6%
AB2314	環境評価学	1	10	10.0%
AB2321	植物病理学	23	28	82.1%
AB2323	免疫科学	45	56	80.4%
AB2324	水産化学	22	29	75.9%
AB2331	森林生態論	20	33	60.6%
AB2342	動物組織細胞学	35	43	81.4%
AB2343	植物分子生理学	54	66	81.8%
AB2351	遺伝子工学	30	94	31.9%
AB2352	フィールド生態学入門	25	32	78.1%
AB2401	資源作物学	2	23	8.7%
AB2402	畜産経営学	4	10	40.0%
AB2404	反応生物化学	18	32	56.3%
AB2413	動物食品機能学	33	73	45.2%
AB2501	植物育種学	24	28	85.7%
AB2502	経済統計学	9	9	100.0%
AB2504	食品化学	5	112	4.5%
AB2511	観賞園芸学	17	21	81.0%
AB2521	昆虫学	1	27	3.7%
AB2523	栄養化学	72	110	65.5%
AB2541	分子生物学	29	135	21.5%
AB2551	植物生理学	25	25	100.0%
	開発学	1	11	9.1%
	経営学	11	12	91.7%
	醸造学特別講義	54	89	60.7%
	テラヘルツ生物学	3	28	10.7%
	農業経済政策学	9	11	81.8%
	農村地域組織論	10	20	50.0%

東北大学農学部実習・実験に関するアンケート集計結果(令和元年度)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	251	512	49.0%
AB5711102	学生実験(作物学)	27	27	100.0%
AB5711103	学生実験(園芸学)	27	27	100.0%
AB5711104	学生実験(土壌立地学)	27	27	100.0%
AB5711106	学生実験(環境適応生物学)	27	27	100.0%
AB5711107	学生実験(生物制御機能学)	27	27	100.0%
AB5711108	学生実験(植物遺伝育種学)	27	27	100.0%
AB5711109	学生実験(植物病理学)	25	27	92.6%
AB5721102	学生実験(動物遺伝育種学)	16	30	53.3%
AB5721103	学生実験(動物生理科学)	2	30	6.7%
AB5721109	学生実験(動物資源化学)	2	30	6.7%
AB5731101	学生実験(水圏動物生理学)	4	29	13.8%
AB5731102	学生実験(水圏資源生態学)	2	29	6.9%
AB5731103	学生実験(水圏植物生態学)	2	29	6.9%
AB5731104	学生実験(水産資源化学)	1	29	3.4%
AB5731107	学生実験(海洋生命遺伝情報システム学)	4	29	13.8%
AB5741101	学生実験(植物細胞生化学)	26	29	89.7%
	学生実験(機能形態学)	3	30	10.0%
	学生実験(生物海洋学)	2	29	6.9%

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学部の学生による授業評価の実施について

令和元年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学部の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。

2. 実施方法

今年度からウェブによるアンケート方法に変更します。授業中に授業担当教員から配付されるQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答して下さい。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持参してください。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の授業改善の参考となります。

令和元年6月

農 学 部 長

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学部の学生による実験・実習評価の実施について

令和元年度に開講される実験・実習について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この実験・実習評価は、農学部の実験・実習と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の実験・実習に対する考えを把握することにより、今後の実験・実習の改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象実験・実習科目について

令和元年度に開講される実験・実習科目について実施します。

2. 実施方法

今年度からウェブによるアンケート方法に変更します。実験・実習中に担当教員から配付されるQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答して下さい。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持ってきてください。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の実験・実習の改善の参考となります。

令和元年6月

農 学 部 長

令和元年 6月24日

令和元年 6月24日

農学部授業担当教員 各位

農学部実験・実習担当教員 各位

農学部評価室長

農学部評価室長

学生による授業評価の実施について(依頼)

学生による実験・実習評価の実施について(依頼)

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いします。

このことについて、今年度に開講される実験・実習科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いします。

記

記

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。

1. 対象実験・実習科目について

今年度(前期および後期)に開講される実験・実習科目について実施します。

2. 実施日時・方法等

(1) 実施日時について

授業評価の実施は原則として、講義の最終日をお願いします。

(2) 実施方法について

今年度からウェブによるアンケート方法に変更いたします。授業を担当している先生方は、授業終了15分前頃に各講義室の教卓に配置しているウェブアンケートのQRコード読み取り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取り回答するよう指示をお願いします。

(3) QRコード読み取り用紙の回収について

QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、元の位置へお戻しいただくようお願いいたします。

(4) 学生への周知について

学生には、授業評価に協力するよう掲示しています。

2. 実施日時・方法等

(1) 実施日時について

実験・実習評価の実施は原則として、実験・実習の最終日をお願いします。

(2) 実施方法について

今年度からウェブによるアンケート方法に変更いたします。実験・実習を担当している先生方は、実験・実習終了15分前頃にウェブアンケートのQRコード読み取り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取り回答するよう指示をお願いします。

(3) QRコード読み取り用紙の回収について

QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、教務係へお戻しいただくようお願いいたします。

(4) 学生への周知について

学生には、実験・実習評価に協力するよう掲示しています。

3. 評価結果の取り扱い

(1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。

(2) アンケート結果は集計後、各担当教員に返却します。

(3) 実験・実習個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

(1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。

(2) アンケート結果は集計後、各担当教員に返却します。

(3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価

II. 学生による農学研究科の授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学研究科の授業評価は、博士課程前期 2 年の課程で平成 30 年度 1、2 学期の授業を対象とした。アンケート用紙は選択肢形式の設問 16 項目と自由記述項目からなり、満足度、理解度などを調査する形のものである。

2) 実施方針

- (1) 実施は令和元年度に行われた農学研究科の講義を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、令和元年 6 月下旬と令和 2 年 1 月に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともに、Web 上のアンケート回答ページ冒頭にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 設問は授業評価のみにしぼり、カリキュラムや施設等に関する設問は設けなかった。全体集計が可能なように各設問に対する回答は 4 段階評価とし、学部講義、実験・実習の評価と統一した様式で実施した。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、令和元年 6 月下旬および令和 2 年 1 月の各 Semester 終了時の授業時間に、Web 上のアンケート回答ページの QR コード読み取り用紙を配布し、学生は QR コードを読み取り、Web 上でアンケートに回答した。
- (2) 教務係では、学生の回答データを Web 上からダウンロードして集計を行った。
- (3) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
令和元年度 1 学期は 18 科目、2 学期は 3 科目で実施された。また、履修届者数は 1 学期 418 名、2 学期 21 名、アンケート延べ回答者数は 1 学期 230 名で回収率は 55.0%、2 学期 12 名で回収率は 57.1%であった。

2. アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、全科目の各設問において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。

設問②:あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。

設問③:質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。

設問④:授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか。

設問⑤:シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。

設問⑥:講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。

設問⑦:あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

設問⑧:視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。

設問⑨:テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。

設問⑩:教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。

設問⑪:理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。

設問⑫:教員は学生に講義への参加(質問、発言、自主的学習など)を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。

設問⑬:この講義のオフィスパワーは利用上適切に設定されていますか。

設問⑭:あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。

設問⑮:講義に対する教員の熱意を感じましたか。

設問⑯:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:出席状況を問う設問である。80%以上出席としたものが1学期は96%であったが、2学期は83%となり低下していた。

設問②～④:講義の難易度と学生の講義に対する取り組みを問う設問である。1、2学期とも95%以上の学生が講義の難易度をおおむね適切であったとしている。質問や発言による積極的な取り組みをした学生は2学期75%に対し1学期は63%と低かった。自主的に学習した学生は1学期46%、2学期は67%と、両設問において前年度と比べて低い値となっている。

設問⑤、⑥:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスに講義の目的、内容、成績評価基準が適切に示され有用であるとした学生は2学期は100%であったが1学期は95%であった。また、講義内容のシラバスとの対応についても両学期ともほとんどの学生が対応していたとしている。

設問⑦:講義から知的刺激を受けたかどうかに関する設問である。知的刺激を受けたと感じた学生は1

学期は 89%、2 学期は 100%であった。

設問⑧、⑨:講義で使われる機器や教材の有用性に関する設問である。教材が役立ったとした学生は、1 学期は 90%であったが、2 学期は 100%であった。

設問⑩～⑫:教員の講義の仕方に関する設問である。1、2 学期ともに 95%を超える学生が教員の声や話し方が聞き取りやすかった、ないしは概ね聞き取りやすかったと感じている。また、講義の組み立てに関しても 92～100%の学生が分かりやすさについて良好な評価を行っている。自主学习を促す指導と討議への対応に関しては、1 学期は 90%、2 学期は 100%の学生が良好な評価を行っている。

設問⑬～⑮:オフィスアワーの設定、講義の進度、教員の熱意に関する設問である。1、2 学期を通して 95%を超える学生がオフィスアワーの設定が適切であると感じている。講義の進度に関しては 92～95%の学生が適切だとしており、教員の熱意もほとんどの学生が感じ取っている。

設問⑯:講義の満足度を問う設問である。両学期とも 95%を超える学生が満足ないしはある程度満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 難易度の設定が適切であった。
- ② 質問や発言による積極的な取り組みをした学生や、自主的に学習した学生の割合が改善されていた。
- ③ シラバスの有用性と、その実際の講義との対応の評価が高かった。
- ④ 教員の声、話し方が聞き取りやすく、かつわかりやすかった。
- ⑤ 進度、教員の熱意、満足度についても評価が高かった。

【改善を要する点】

- ① 質問や発言などによる積極的な取り組みをあまりしなかった学生が 40%程度存在した。
- ② 講義に関する自主的な学習をあまりしない、あるいは全くしない学生も半数以上いた。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

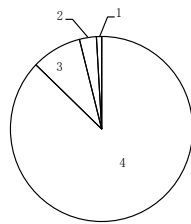
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

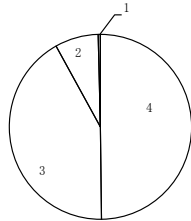
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。	4 90%以上	205	87.2
	3 80%~90%未満	21	8.9
	2 70%~80%未満	7	3.0
	1 70%未満	2	0.9
	未記入	0	0.0
2. あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。	4 適切であった	117	49.8
	3 概ね適切であった	99	42.1
	2 あまり適切でなかった	18	7.7
	1 全く適切でなかった	1	0.4
	未記入	0	0.0
3. 質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。	4 極めて積極的に取り組んだ	56	23.8
	3 積極的に取り組んだ	92	39.1
	2 あまり積極的に取り組まなかった	85	36.2
	1 全く積極的に取り組まなかった	2	0.9
	未記入	0	0.0
4. 授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか。	4 学習した	58	24.7
	3 ある程度学習した	50	21.3
	2 あまり学習しなかった	65	27.7
	1 全く学習しなかった	62	26.4
	未記入	0	0.0

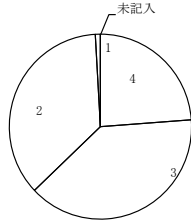
1.出席



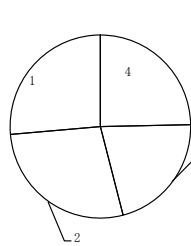
2. 難易度



3. 積極性



4. 自主学習



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

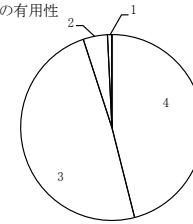
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

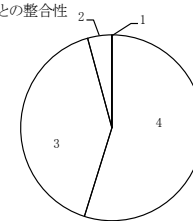
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。	4 有用であった	108	46.0
	3 概ね有用であった	115	48.9
	2 あまり有用でなかった	10	4.3
	1 全く有用でなかった	2	0.8
	未記入	0	0.0
6. 講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。	4 対応していた	129	54.9
	3 概ね対応していた	96	40.8
	2 あまり対応していなかった	10	4.3
	1 全く対応していなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
7. あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んできましたか。	4 思った	109	46.4
	3 ある程度思った	100	42.6
	2 あまり思わなかった	25	10.6
	1 全く思わなかった	1	0.4
	未記入	0	0.0
8. 視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。	4 効果的だった	126	53.6
	3 ある程度効果的だった	84	35.7
	2 あまり効果的でなかった	10	4.3
	1 全く効果的でなかった	0	0.0
	未記入	15	6.4

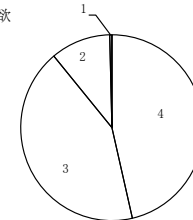
5. シラバスの有用性



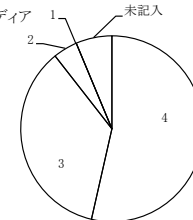
6. シラバスとの整合性



7. 学習意欲



8. 講義メディア



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

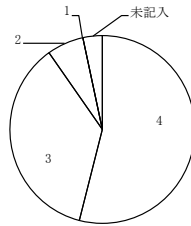
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

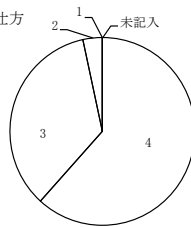
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。	4 役立った	127	54.0
	3 ある程度役立った	85	36.2
	2 あまり役立たなかった	15	6.4
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	8	3.4
10. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。	4 聞き取りやすかった	145	61.7
	3 概ね聞き取りやすかった	82	34.9
	2 多少聞き取りにくかった	8	3.4
	1 聞き取りにくかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
11. 理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。	4 わかりやすかった	110	46.8
	3 概ねわかりやすかった	105	44.7
	2 多少わかりにくかった	18	7.7
	1 わかりにくかった	2	0.8
	未記入	0	0.0
12. 教員は学生に講義への参加（質問、発言、自主的学習など）を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。	4 対応していた	127	54.0
	3 ある程度対応していた	84	35.7
	2 あまり対応していなかった	22	9.4
	1 全く対応していなかった	2	0.9
	未記入	0	0.0

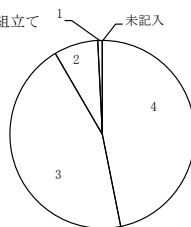
9. 教材



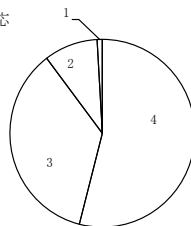
10. 説明の仕方



11. 講義の組立て



12. 学生対応



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和元年1学期）

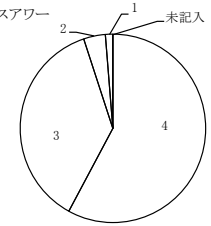
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

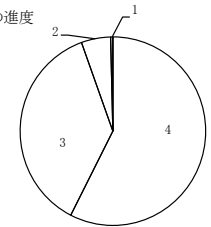
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4 適切である	138	57.9
	3 ほぼ適切である	87	37.0
	2 あまり適切でない	9	3.8
	1 適切でない	3	1.3
	未記入	0	0.0
14. あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。	4 適切であった	135	57.5
	3 概ね適切であった	87	37.0
	2 あまり適切でなかった	12	5.1
	1 全く適切でなかった	1	0.4
	未記入	0	0.0
15. 講義に対する教員の熱意を感じましたか。	4 感じた	134	57.0
	3 ある程度感じた	91	38.7
	2 あまり感じなかった	9	3.9
	1 全く感じなかった	1	0.4
	未記入	0	0.0
16. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 満足した	137	58.3
	3 ある程度満足した	85	36.2
	2 あまり満足しなかった	13	5.5
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

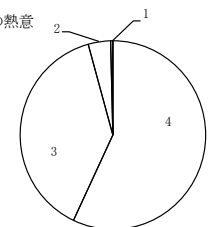
13. オフィスアワー



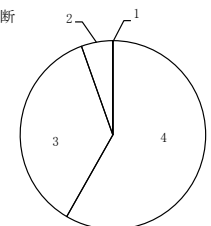
14. 講義の進捗



15. 教員の熱意



16. 総合判断



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

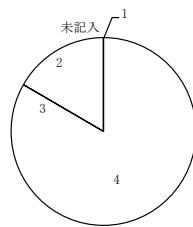
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

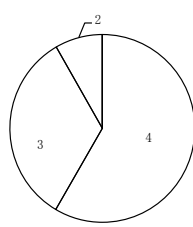
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。	4 90%以上	10	83.3
	3 80%～90%未満	0	0.0
	2 70%～80%未満	2	16.7
	1 70%未満	0	0.0
	未記入	0	0.0
2. あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。	4 適切であった	7	58.4
	3 概ね適切であった	4	33.3
	2 あまり適切でなかった	1	8.3
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
3. 質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。	4 極めて積極的に取り組んだ	3	25.0
	3 積極的に取り組んだ	6	50.0
	2 あまり積極的に取り組まなかった	3	25.0
	1 全く積極的に取り組まなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
4. 授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか。	4 学習した	6	50.0
	3 ある程度学習した	2	16.7
	2 あまり学習しなかった	4	33.3
	1 全く学習しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

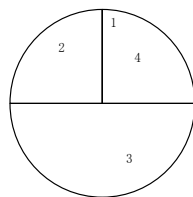
1.出席



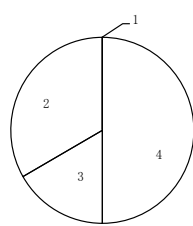
2. 難易度



3. 積極性



4. 自主学習



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

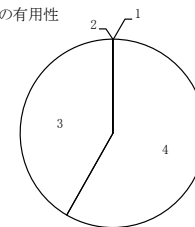
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

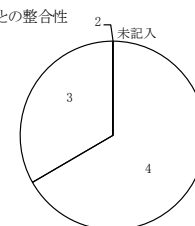
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。	4 有用であった	7	58.3
	3 概ね有用であった	5	41.7
	2 あまり有用でなかった	0	0.0
	1 全く有用でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
6. 講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。	4 対応していた	8	66.7
	3 概ね対応していた	4	33.3
	2 あまり対応していなかった	0	0.0
	1 全く対応していなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
7. あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。	4 思った	6	50.0
	3 ある程度思った	6	50.0
	2 あまり思わなかった	0	0.0
	1 全く思わなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
8. 視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。	4 効果的だった	9	75.0
	3 ある程度効果的だった	3	25.0
	2 あまり効果的でなかった	0	0.0
	1 全く効果的でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

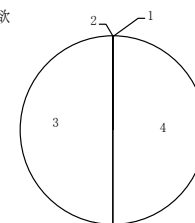
5. シラバスの有用性



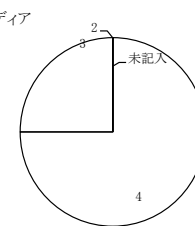
6. シラバスとの整合性



7. 学習意欲



8. 講義メディア



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

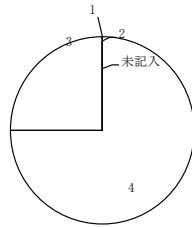
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

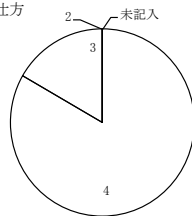
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。	4 役立った	9	75.0
	3 ある程度役立った	3	25.0
	2 あまり役立たなかった	0	0.0
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
10. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。	4 聞き取りやすかった	10	83.3
	3 概ね聞き取りやすかった	2	16.7
	2 多少聞き取りにくかった	0	0.0
	1 聞き取りにくかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
11. 理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。	4 わかりやすかった	9	75.0
	3 概ねわかりやすかった	3	25.0
	2 多少わかりにくかった	0	0.0
	1 わかりにくかった	0	0.0
	3 未記入	0	0.0
12. 教員は学生に講義への参加(質問、発言、自主的学習など)を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。	4 対応していた	8	66.7
	3 ある程度対応していた	4	33.3
	2 あまり対応していなかった	0	0.0
	1 全く対応していなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

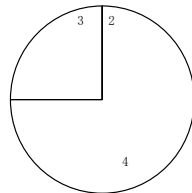
9. 教材



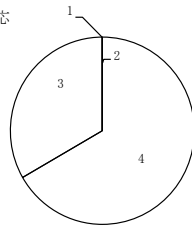
10. 説明の仕方



11. 講義の組立て



12. 学生対応



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和元年2学期）

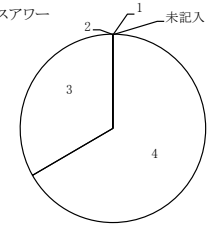
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

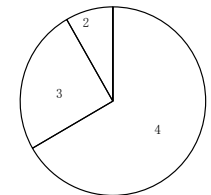
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4 適切である	8	66.7
	3 ほぼ適切である	4	33.3
	2 あまり適切でない	0	0.0
	1 適切でない	0	0.0
	未記入	0	0.0
14. あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。	4 適切であった	8	66.7
	3 概ね適切であった	3	25.0
	2 あまり適切でなかった	1	8.3
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
15. 講義に対する教員の熱意を感じましたか。	4 感じた	8	66.7
	3 ある程度感じた	4	33.3
	2 あまり感じなかった	0	0.0
	1 全く感じなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
16. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 満足した	7	58.3
	3 ある程度満足した	5	41.7
	2 あまり満足しなかった	0	0.0
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

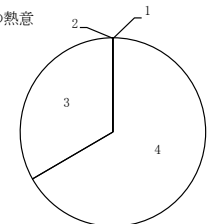
13. オフィスアワー



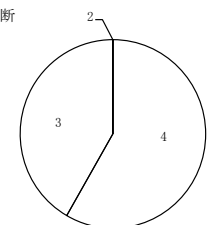
14. 講義の進度



15. 教員の熱意



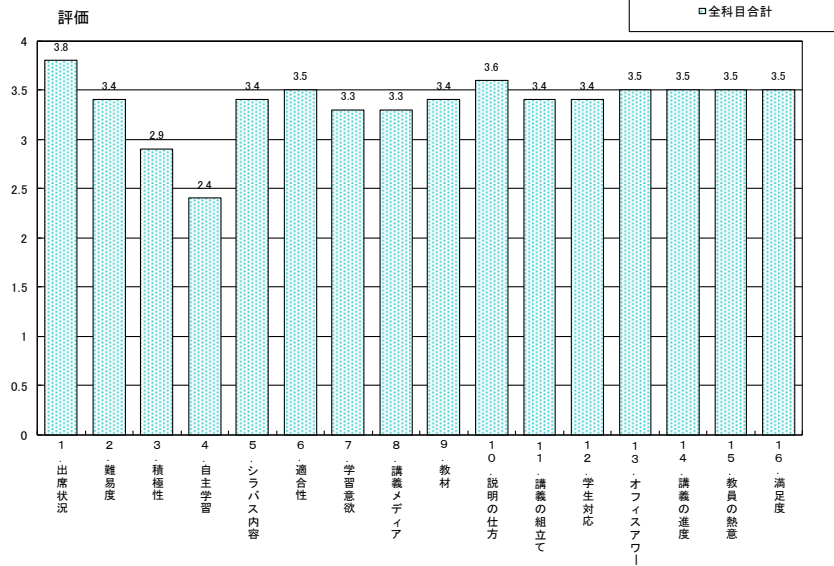
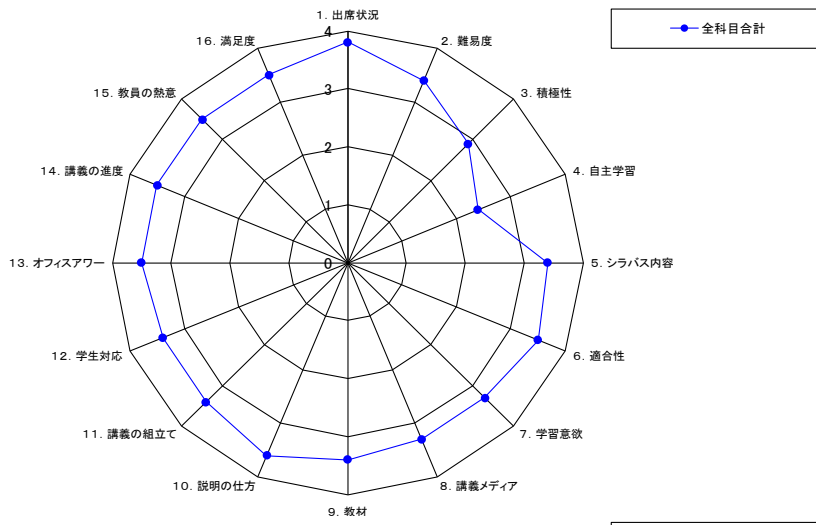
16. 総合判断



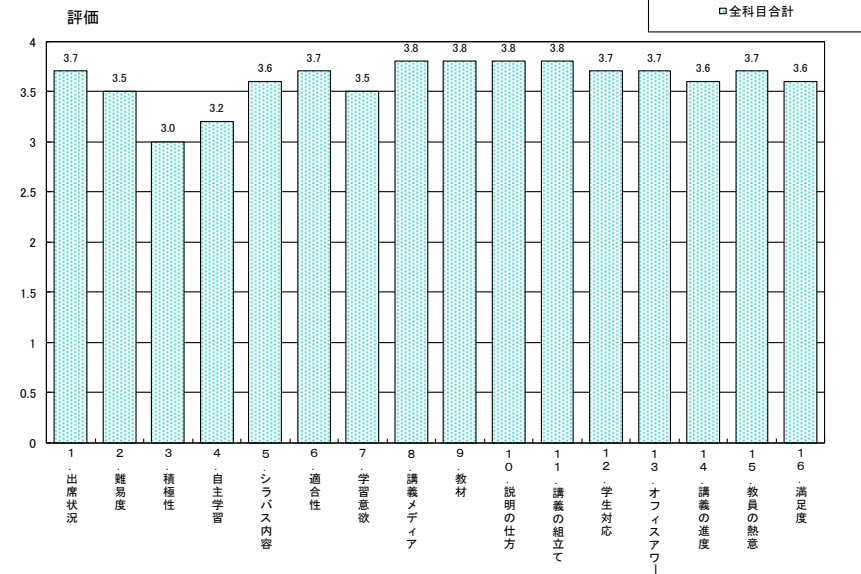
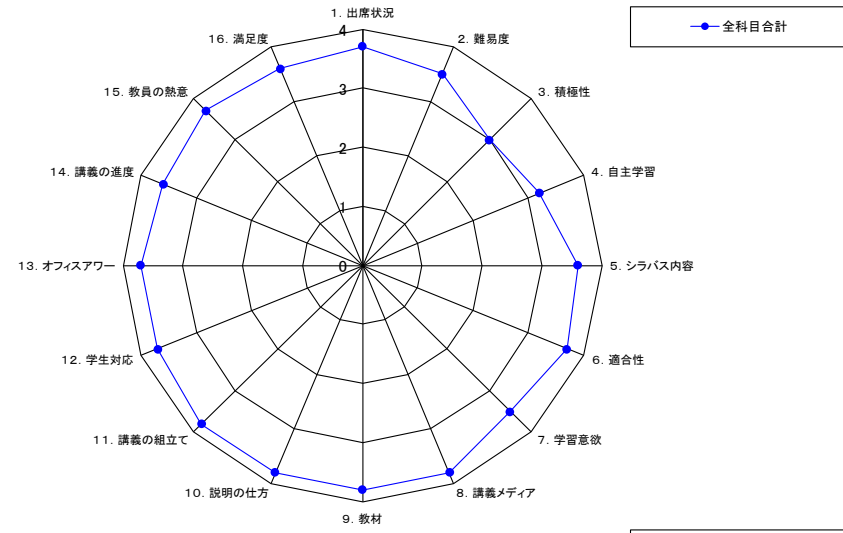
○全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席状況が1学期、2学期とも最も高く、3.8 および 3.7 であった。他にも、適合性、説明の仕方、オフィスアワー、講義の速度、教員の熱意、満足度の評価が高く、両学期とも 3.5 を超える値であった。一方、積極性、自主学習については 3.2～2.4 であり、やや評価が低かった。その他の項目は良好な評価であった。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和元年1学期)
全科目合計



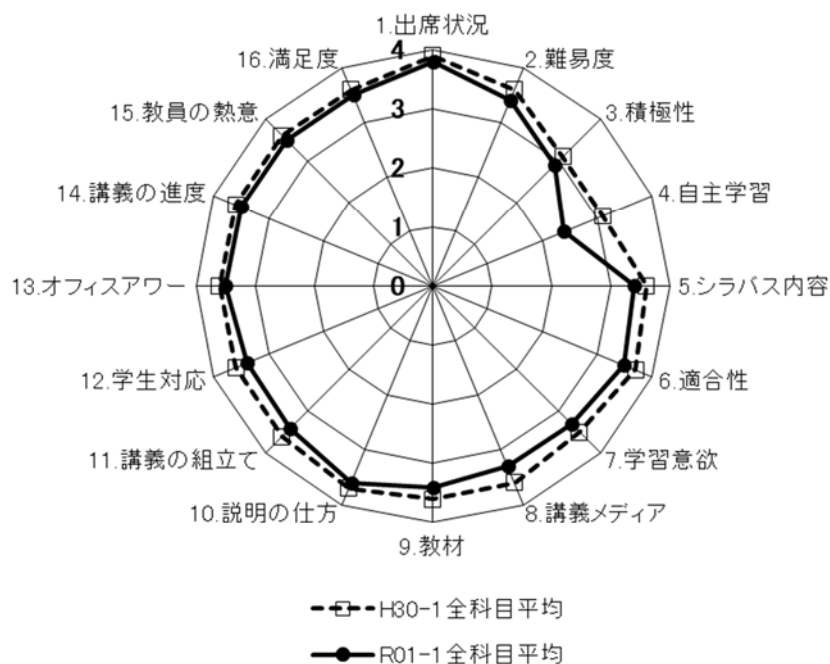
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和元年2学期)
全科目合計



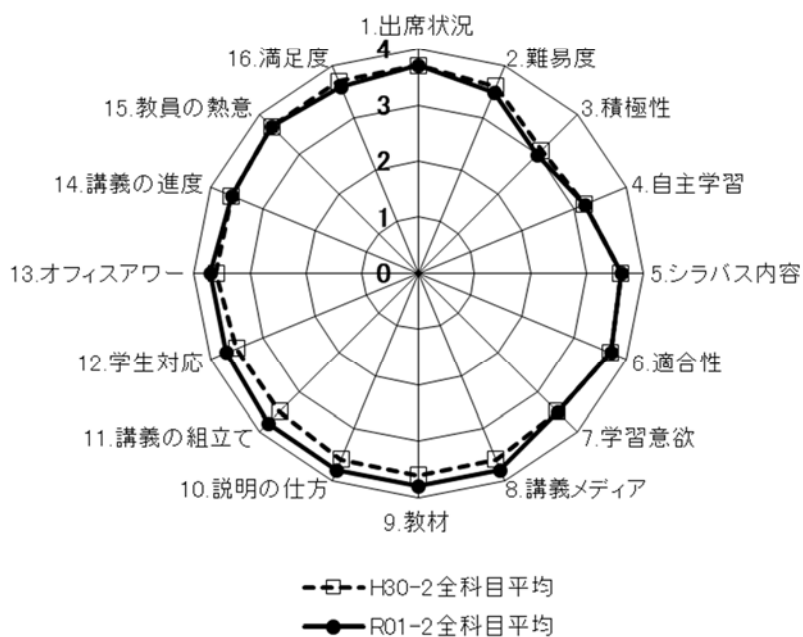
○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成30年度実施)と同じである。1学期、2学期とも前回と大きな変化はなかった。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. 参考資料

- 1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙(QRコード) (令和元年度)
- 2) 授業評価実施科目表 (科目別受講者数およびアンケート回収率) (令和元年度)
- 3) 「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について

授業評価アンケート（R1前期）

QRコードを読み取り、アンケートに回答してください。
QRコードを読み取れない方は、URLからウェブサイト
にアクセスしてください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/EXO4831J>



学部実験用

<https://questant.jp/q/110DU59Q>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/CRF82KZ9>



授業評価アンケート（R1後期）

QRコードを読み取り、アンケートに回答してください。
QRコードを読み取れない方は、URLからウェブサイト
にアクセスしてください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/DVMD2PYC>



学部実験用

<https://questant.jp/q/11ODU59Q>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/4BSUHHL8>



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和元年度1学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	230	418	55.0%
AM1111	水圏植物生態学特論	8	20	40.0%
AM1112	食品化学特論	21	38	55.3%
AM1121	微生物科学合同講義	41	75	54.7%
AM1131	水圏資源生態学特論	23	34	67.6%
AM1133	応用微生物学特論	12	12	100.0%
AM1141	フィールド社会技術学特論	2	10	20.0%
AM1222	組織細胞機能学特論	28	34	82.4%
AM1331	環境経済学特論	9	12	75.0%
AM1334	機能分子解析学特論	1	20	5.0%
AM1341	植物生命科学合同講義	39	45	86.7%
AM1411	環境適応生物学特論	6	16	37.5%
AM1421	水産資源化学特論	3	7	42.9%
AM1512	動物栄養生化学特論	1	6	16.7%
	栄養生理学特論	1	22	4.5%
	栽培植物環境科学特論	8	23	34.8%
	実践科学英語	10	18	55.6%
	生命機能物質分析特論	12	21	57.1%
	International Development studies	5	5	100.0%

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和元年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	12	21	57.1%
AM2351	動物遺伝育種学特論	6	8	75.0%
AM2702	複合生態フィールド制御学特論	3	5	60.0%
	天然物生命化学特論	3	8	37.5%

学 生 諸 君 へ

農学研究科授業担当教員 各位

農学研究科の学生による授業評価の実施について

農学研究科評価室長

令和元年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学研究科の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

学生による授業評価の実施について(依頼)

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。

つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

記

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される授業科目（前期課程対象）について実施します。

2. 実施方法

授業中に授業担当教員から配布される QR コードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答して下さい。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学研究科の授業改善の参考となります。

令和元年 6月

農 学 研 究 科 長

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される農学研究科授業科目(前期課程)について実施します。**受講者数に関らず全科目が対象となります。**ただし、全学で実施している合同講義の読替え科目については対象となりませんので、**その場合は教務係までご連絡願います。**

2. 実施日時・方法等

(1) 実施日時について

授業評価の実施は原則として、講義の最終日をお願いします。

(2) 実施方法について

今年度からウェブによるアンケート方法に変更いたします。授業を担当している先生方は、授業終了15分前頃に各講義室の教卓に配置しているウェブアンケートの QR コード読み取り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取り回答するよう指示をお願いします。

(3) QR コード読み取り用紙の回収について

QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、元の位置へお戻しいただくようお願いいたします。

(4) 学生への周知について

学生には、授業評価に協力するよう掲示しています。

3. 評価結果の取り扱い

(1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。

(2) アンケート用紙は集計後、各担当教員に公表します。

(3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

学生による授業評価アンケート実施結果報告書

2021年3月

編集：東北大学大学院農学研究科評価室・評価委員会

評価室長	鳥山 欽哉		
評価委員会	尾定 誠	○	上本 吉伸
	落合 芳博		大越 和加
	桑原 重文		加藤 一幾
	◎ 角田 毅		北柴 大泰
	小川 智久	○	小島 創一
	新谷 尚弘		中嶋 正道
	○ 此木 敬一		
評価室員	川邊 晃一		早坂 梓

(◎学生授業評価専門委員会委員長、○同専門委員会委員)

発行：東北大学大学院農学研究科

〒980-8572 宮城県仙台市青葉区荒巻字 468-1

Tel: 022-757-4003 Fax: 022-757-4020
